

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2014 号

Skin advanced glycation end products as biomarkers of photosensitivity in schizophrenia

(皮膚終末糖化産物は統合失調症患者における光過敏性のバイオマーカーとなるか)

谷 恵梨子 (たに えりこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、抗精神病薬の副作用の一つとして、紫外線 A 波 (UVA) に対する光線過敏性があり、近年、カルボニルストレスの終末糖化産物 (AGEs) は統合失調症患者の抗精神病薬に関連していることがわかっており、皮膚終末糖化産物、光線過敏性と抗精神病薬の有無と内服量の関係を調べたものである

14 人の統合失調症患者と 14 人の健常者が被験者となり、皮膚 AGEs と MRD をそれぞれ専用の機器で計測した。

結果は、統合失調症患者では光線過敏性が強くなっている傾向は認められたものの、有意差はなかった。重回帰分析を行ったが、皮膚 AGEs に影響する要因は認めず、MRD は皮膚 AGEs に影響しなかった。

統合失調症患者での光線過敏性は抗精神病薬の内服量、皮膚 AGEs の両方が影響しない。

本論文の研究結果はネガティブなものであったが、限界として、少ない対象者数、病状が軽症から中等度症であったこと考察されている。今後、より多数の対象者、重症患者での研究により治療に役立つことも多く、結果、考察から今後の課題が示唆されさらなる発展が見込める点が優れている。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。